

# ステークホルダーとマテリアリティ

当社グループは、社会に必要とされる会社として、思いをこめてあしたをつくっていくことをパーパスとしています。その実現のためには、関係するすべての方々への影響に配慮し、価値を創造していくことが欠かせません。そこで事業活動を通じたステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを踏まえ、重要な期待や影響を把握し、マテリアリティの特定を行っています。尚、ステークホルダーの皆様への姿勢は、最上位の行動指針としての行動規範に明記されています。

ステークホルダー	行動規範	主なステークホルダー	主なコミュニケーション方法
顧客	私たちは、日頃からお客様とのコミュニケーションを図り、お客様から信頼され、満足していただける高品質で環境にやさしい製品やサービスの提供に努めます。	世界のカーメーカー、タイヤメーカー、自動車部品メーカー、製品のエンドユーザー、新製品のお客様など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常業務での顧客とのコミュニケーション</li> <li>・ 顧客からの要請</li> <li>・ 国内外での技術展示会、イベントへの参加</li> <li>・ 顧客からの表彰(評価基準・評価内容)</li> </ul>
株主・投資家・金融機関	私たちは、株主の皆様からの信頼と期待に応えるため、双方向コミュニケーションを基本とし、常に長期的視点に立ち、企業価値の向上に努めます。	株主10,047名(金融機関23、金融商品取引業者36、その他国内法人152、外国法人等195、個人・その他9,641名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 株主総会</li> <li>・ 機関投資家・個人投資家向けIR</li> <li>・ 決算説明会</li> <li>・ ESGミーティング</li> <li>・ Webサイトでの情報開示</li> </ul>
取引先	私たちは、取引先様を尊重し、対等・公平な立場で強固なパートナーシップを築き、相互信頼に基づく共存共栄をめざします。	グローバルに展開するうえで調達している一次サプライヤーから最上流サプライヤーなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会社方針説明会、実務担当者会議</li> <li>・ 主要仕入先との活動</li> <li>・ 取引先アンケート</li> <li>・ 倫理・苦情相談窓口、独立相談窓口</li> </ul>
従業員	私たちは、人間性尊重を基本に、心身ともに健康で安心して働ける職場づくりと、従業員が働きがいと誇りを持ち、創造力・チャレンジ精神を發揮できる環境・しくみづくりを推進します。	世界9カ国24拠点、6,171名(正規4,966名、非正規1,205名)とその家族など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 労働組合との対話</li> <li>・ 評価面談・教育研修</li> <li>・ 安全衛生委員会</li> <li>・ 倫理・苦情相談窓口、独立相談窓口</li> <li>・ 社内報(毎月発行)</li> <li>・ ストレスチェックの傾向分析</li> <li>・ 従業員エンゲージメント調査</li> </ul>
環境	私たちは、あらゆる事業活動において、常に環境保全の重要性を認識し、環境に関する諸法令を遵守するとともに、当社の「環境方針」に基づいた環境保全活動に積極的に取り組みます。	展開地域およびバリューチェーンにおける、自然環境(森林・河川・海・大気・土壌・資源など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内外の自治体との対話や地域懇談会</li> </ul>
地域社会	私たちは、地域社会との密接な連携と協調を図り、社会の持続的発展に貢献するとともに、様々な社会貢献活動(学術・文化・スポーツ支援、ボランティア活動参加支援、国際社会貢献等)を行い、地域社会との絆を築きます。	世界9カ国24拠点のある国と、特に拠点のある自治体。および従業員が住む地域など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域懇談会</li> <li>・ 工場見学</li> <li>・ 地域貢献活動</li> <li>・ スポーツ振興</li> <li>・ 学校への出張教育</li> <li>・ 非営利団体との対話</li> </ul>

当社グループは、2020年にSDGs(持続可能な開発目標)を踏まえ、2030年を時間軸としたサステナビリティに関する当社グループの重要課題(マテリアリティ)を抽出し、4つの柱となるテーマと、15のマテリアリティ、注力するSDGsテーマを特定し、それぞれめざす姿やKPIを定めて、取り組みを進めています。マテリアリティ特定プロセスや、マテリアリティに基づく取り組みの詳細は「サステナビリティデータブック2024」をご参照ください。

2023年4月に発表した中期経営構想「Beyond the OCEAN」では、マテリアリティから特に企業価値に与える影響が大きく、重要だと考えられるテーマを経営目標(非財務価値目標)として選定しています。

なお、当社グループは、昨今のさまざまなサステナビリティに関する開示基準の進展や、ステークホルダーの皆様への影響、市場環境の変化などを踏まえ、マテリアリティの改訂を進めています。

## 太平洋工業グループのマテリアリティ

### 1 ステークホルダーとの信頼醸成



- 企業倫理・コンプライアンス
- 顧客満足度の向上
- 責任ある調達
- 地域社会の発展

特に関連するSDGs



### 2 製品を通じた社会・顧客課題の解決



- 持続可能なモビリティ社会と豊かな暮らしへの貢献
- モビリティの安全性向上
- 環境配慮製品の開発

経営目標 新規商品・サービス上市件数

経営目標 電動車向け売上比率

特に関連するSDGs



### 3 環境負荷の極小化



- 気候変動の緩和および適応
- 持続可能な資源の利用
- 水資源の保全

経営目標 CO<sub>2</sub>排出量

特に関連するSDGs



### 4 人財の尊重と活躍



- 人権の尊重
- 安定した雇用と働きやすい職場
- 従業員の安全と健康
- 人財育成と挑戦できる風土の醸成
- ダイバーシティ&インクルージョン

経営目標 従業員エンゲージメント

特に関連するSDGs

